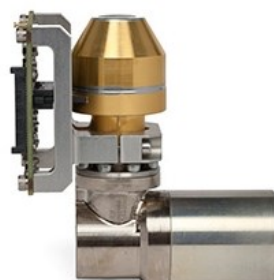
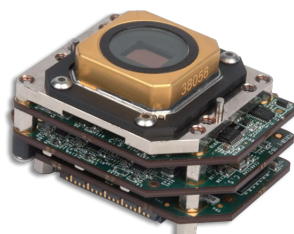
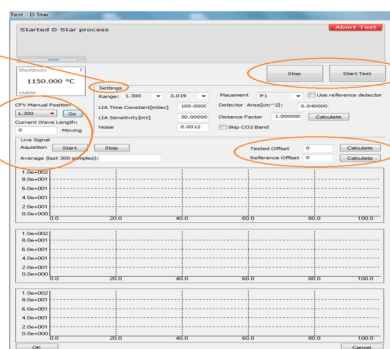
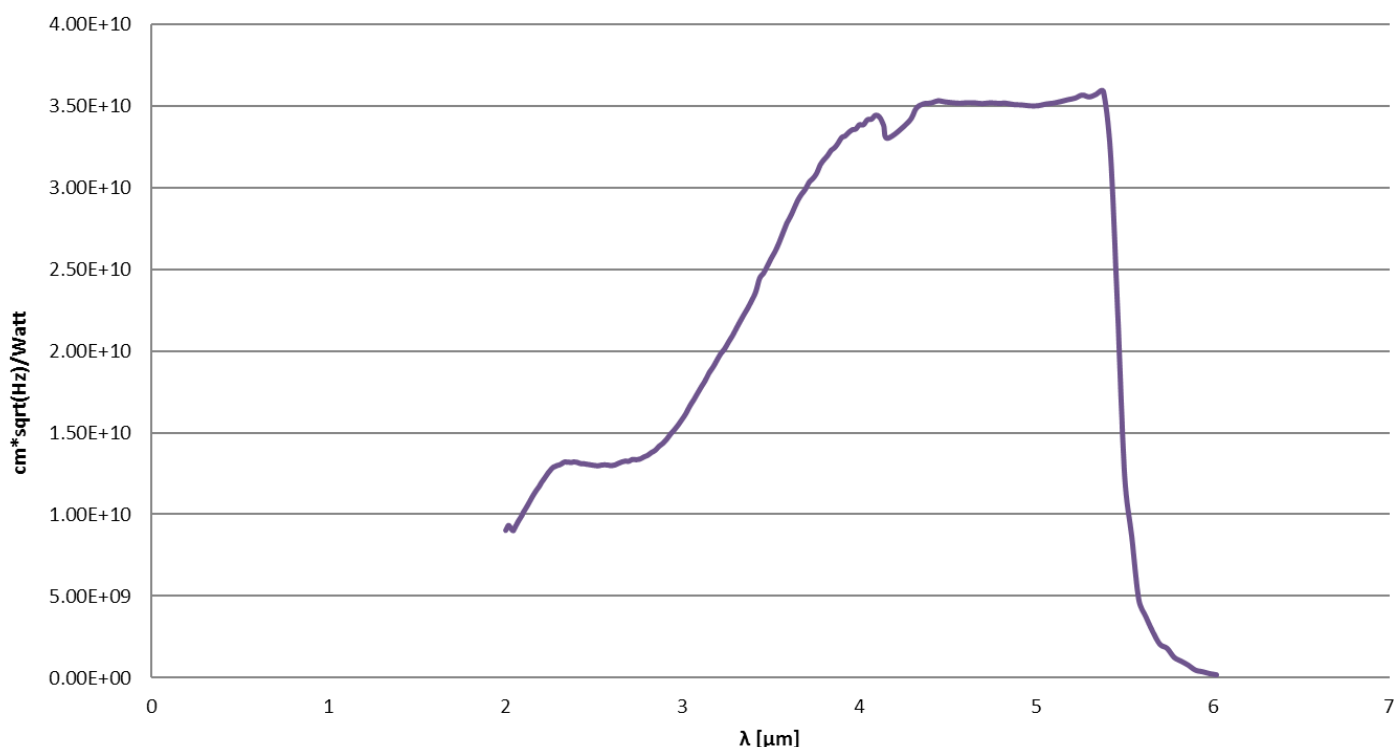


分光感度 測定装置

SWIR/MWIR/LWIR 赤外ディテクタ の試験

InSb detector, "Specific Spectral Responsivity" (D^*)



赤外ディテクタを開発するには、ディテクタの分光感度特性を計測することが欠かせません。

本装置はCVF（赤外のバリアブルフィルタ）を使用しているため、SWIR、MWIR、LWIRの任意の特定波長の赤外光をディテクタに入射することができます。さらに、CVFはグレーティングよりも大きな光量を得られます。

それにより、様々な赤外ディテクタの連続的な分光感度特性が取得できます。専用のソフトウェアによる簡単な測定を実現しました。

特徴

- ・ CVFの採用 : 連続した分光感度が取得可能、グレーティングよりも大きな光量
- ・ 広い波長範囲 : 0.4~14um (バンドパスフィルタを追加すれば他の波長も計測可能)
- ・ 専用ソフト : 感度、D*などが簡単に測定可能

CVF (Circler Variable Filter) とは、

場所によって透過波長が連続的に変化している、赤外のバリエーションフィルタです。円形をしており、1回転させると波長の連続した光を透過させられます。

装置構成と概要

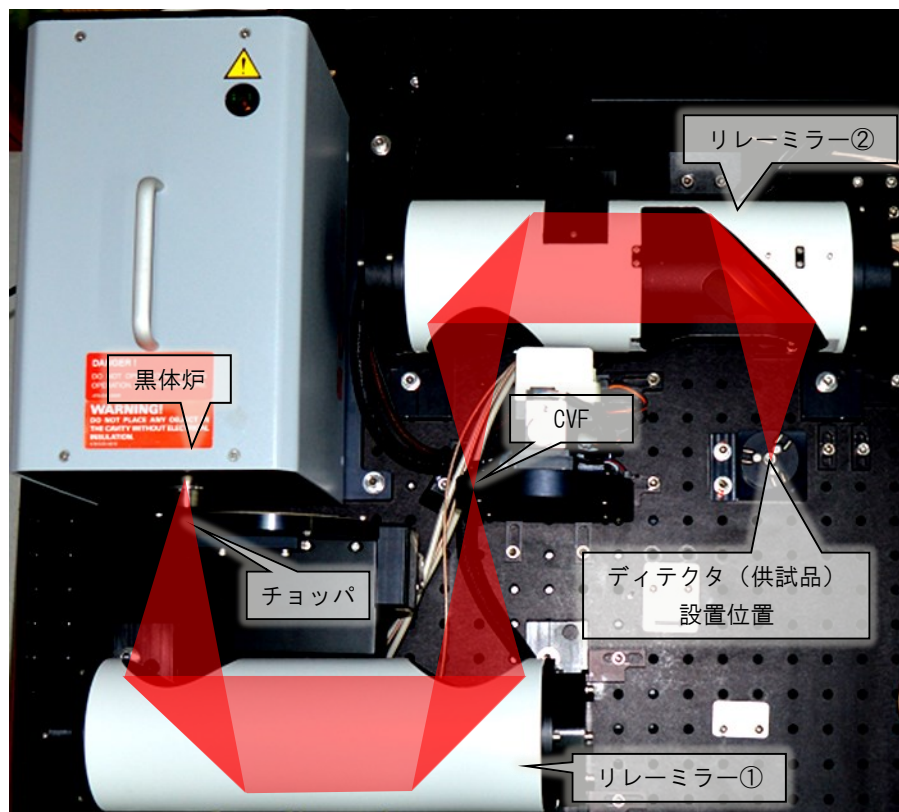
黒体炉から放射された赤外光はチョッパでチョッピングされた後、リレーミラー①によって集光されます。

焦点面にはCVFがあり、ここで特定の波長の赤外光のみが透過されます。CVFを1回転させると、1つのスペクトラルが得られます。

CVFを透過した光はリレーミラー②を通り、ディテクタ（供試品）に集光されます。

波長ごとの光量は校正されており、専用ソフトを用いて感度の絶対値が取得できます。

光量を定期的に確認する為のディテクタや、供試ディテクタ用のロックインアンプ等のオプションもあります。



測定内容に応じて、最適な装置をご提案します。お問い合わせ下さい。

その他 関連製品

積分球 SR300

可視、近赤外の基準光源

近赤外のカメラの試験には必須です。センサ内蔵なので、出力（光量）を任意に設定できます。



赤外カメラ試験装置

ディテクタの次はカメラの試験

黒体炉、コリメータ、ターゲットなど、赤外カメラの試験内容に応じた装置をご提案します。



ストックフィルタ

低価格、短納期の光学フィルタ

たくさんのフィルタをストックしていますので、必要な時にすぐに使えます。

- ・ バンドパス
- ・ ショートパス、ロングパス
- ・ ND など



株式会社アイ・アール・システム

〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-6-20

TEL: 042-400-0373 FAX: 042-400-0374 e-mail: office@irsystem.com

<https://www.irsystem.com>

